

「主体的に学習に取り組む態度」の評価

第3ブロック

田原本町立北中学校

松井 輝

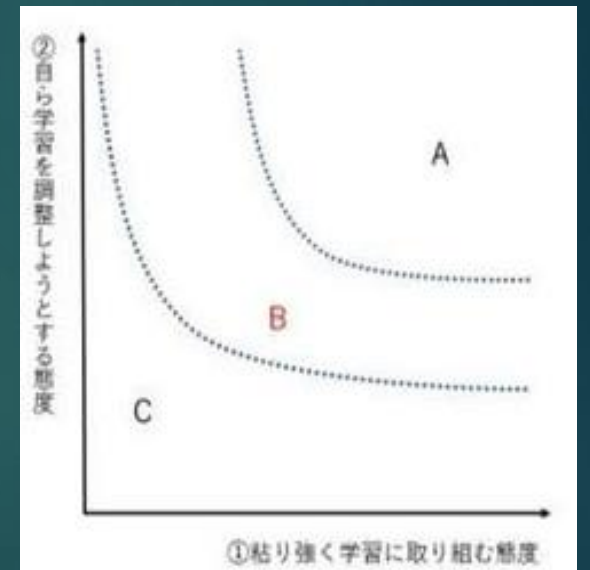
「主体的に学習に取り組む態度」の評価とは

- ▶ 「関心・意欲・態度」とは異なる。
- ▶ 継続的な行動や積極的な発言をするなど、性格や行動面の傾向を評価するのではなく、知識及び技能を習得したり、思考力判断力、表現力等を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという生徒の意思が重要。

①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面

②粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面

①、②の2つの側面を見取ることが重要。



「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法

▶ 行動観察

- ▶ 観察・実験
- ▶ 発表、話し合い

▶ 記述分析

- ▶ ノート、ワークシート
- ▶ レポート、作品
- ▶ ポートフォリオ
- ▶ 自己評価、相互評価

行動観察の評価方法

- ▶ 授業ごとに座席表や名簿を用意しておき、簡単なメモをとる。
→できるだけ速やかに行い、授業の進行を邪魔しない。
- ▶ ノートにハンコを押したり、シールを貼るなどし、ノート提出の際に集約する。
→机間巡視の際に、生徒の発言や行動を注視する。
- ▶ ノートの端に余白を設け、気づいたことを記述できる欄を作成する。
→書きこむ様子、内容を評価する。

ノート、ワークシートの評価方法

ノート、ワークシートの目的を理解する。

▶ 生徒側の目的

- ▶ 授業後に振りかえることができる。
- ▶ 学習した用語などの知識を書くことで、授業内容を整理する。
- ▶ 授業中に考えたことを書きだすことで、自らの思考過程を整理する。

▶ 教師側の目的

- ▶ 学習状況・授業内容の到達度を評価する。

レポート、作品の評価方法

▶ 夏休みの自由研究で取り扱う評価項目

- ▶ 身近なことに目を向け、自分の興味・関心に応じて課題を設定しているか
- ▶ いくつもの実験や観察を行ったり、結果から新たな疑問を見つけたりして次の実験を行うなど、課題を掘り下げて解決しようとしているか。
- ▶ これまでの学習内容を活用したり、新たな方法を調べたりして、実験方法を工夫するなど、粘り強く取り組んでいるか。
- ▶ 自由研究を通して、新たな疑問や興味を見出し、取り組もうとしているか。

相互評価、自己評価の方法

▶ 相互評価

▶ パフォーマンステスト

→ガスバーナーや顕微鏡などの技能評価と同時に、「一生懸命に取り組んでいたか」などを態度の評価として活用できる。

▶ ワークシートやノート

→単元末や学期末などに行う。「板書の内容をわかりやすくまとめているか」の観点を提示して相互評価を行う。

▶ 自己評価

▶ 毎時間の自己評価

→授業終わりに「授業に進んで取り組むことができたか」などを自己評価する。

▶ 学習のまとまりで行う自己評価

→学習のまとまり前後で自己評価することで、自身の変容を実感しやすくなる。

今年度取り組んだ評価方法

①自由研究の相互評価

- ▶ 5～6人グループで自分の自由研究を口頭発表する。（本校は1学期から総合の時間に「探究活動」に取り組んでいる。
- ▶ ワークシート（ルーブリック）を配布し、他者の研究内容を聞き、研究内容を分析する。
- ▶ 自分の研究の良さや改善点を見出そうとする。

夏休みの自由研究の発表を聞いて

() 番目 () さんの発表の考察

() 組 名前 ()

	評価の観点	S 期待を越えたレベル	A 期待しているレベル	B 身に付けてほしいレベル	C 課題があるレベル
興味深さ	興味深い研究テーマが設定され、興味を引くような研究内容になっているか	着眼点がよく、テーマの設定に説得力があり、マネしたくなる研究内容である	研究テーマの設定や研究内容にとっても <u>興味を引かれる</u>	研究テーマや内容に興味はわく	研究テーマの設定があいまいで研究内容が興味深くない
考えの主張	研究を通して自分で考えたことを主張しているか	仮説を検証するなど、自分の考えが <u>論理的に伝わる</u> ように工夫して主張している	自分の考えを根拠をもとに <u>明確に主張している</u>	根拠はないが、自分で考えたことが述べられている	単なる感想になっていて自分で考えたことを主張していない
伝え方	研究した内容をわかりやすく伝えているか	研究内容について、興味を引くように魅力的に伝えている	研究した内容について、 <u>工夫をして</u> わかりやすく伝えている	研究した内容がわかるように伝えられている	研究した内容がわかりにくい
総合	研究として充実した内容になっているか	研究内容に思わずほかの人に <u>教えたい</u> くなるような魅力があり、充実している	研究として充実した内容になっている	研究で分かったことや考えたことつを表現した内容になっている	研究内容が薄くてわかりにくいなど、研究として不十分である

1. ○○さんの研究の良かったところや参考にしたいところ、改善点などのアドバイスを書こう。

2. 自分の自由研究を振り返り、よかった点や、改善点、今後に生かせることを書こう。

夏休みの自由研究の発表を聞いて

(5) 番目

〇〇さんの発表の考察

考察者の主観であるため、「主体的に学習に取り組む態度」の評価対象にはならない

	評価の観点	S 期待を越えたレベル	C があるレベル
興味深さ	興味深い研究テーマが設定され、興味を引くような研究内容になっているか	着眼点が多く、テーマの設定に説得力があり、マネしたくなる研究内容である	研究テーマの設定が興味を引かない
考えの主張	研究を通して自分で考えたことを主張しているか	仮説を検証するなど、自分の考えが論理的に伝わるように工夫して主張している	研究テーマや内容に興味はわく
伝え方	研究した内容をわかりやすく伝えているか	研究内容について、興味を引くように魅力的に伝えている	研究テーマの設定が興味深い
総合	研究として充実した内容になっているか	研究内容に思わずほかの人に教えたくなるような魅力があり、充実している	研究テーマの設定が興味深くない

・ 他人の研究について、発表内容の良さや課題を分析的に評価しようとしている
 ・ 自らの研究について振り返り、よかった点や改善点を見出そうとしている
「主体的に学習に取り組む態度」の評価

1. 〇〇さんの研究の良かったところや参考にしたいところ、改善点などのアドバイスを書こう。

静電気について研究することがおもしろかったです。絵や色をつけて見やすかったのと、次の自由研究で私も書いてみたいと思いました。

2. 自分の自由研究を振り返り、よかった点や、改善点、今後に生かせることを書こう。

色や絵をつけていなくて相手も見にくいと思うので今後の自由研究では、書きたいと思います。表でかんけつにまとめられたの、いいなと思います。

夏休みの自由研究の発表を聞いて

(3) 番目

さんの発表の考察

(2) 組 名前 (

	評価の観点	S 期待を越えたレベル	A 期待しているレベル	B 身に付けてほしいレベル	C 課題があるレベル
興味深さ	興味深い研究テーマが設定され、興味を引くような研究内容になっているか	着眼点が高く、テーマの設定に説得力があり、マネしたくなる研究内容である	研究テーマの設定や研究内容にとっても興味を引かれる	研究テーマや内容に興味はわく	研究テーマの設定がいまいで研究内容が興味深くない
考えの主張	研究を通して自分で考えたことを主張しているか	仮説を検証するなど、自分の考えが論理的に伝わるように工夫して主張している	自分の考えを根拠をもとに明確に主張している	根拠はないが、自分で考えたことが述べられている	単なる感想になっていて自分で考えたことを主張していない
伝え方	研究した内容をわかりやすく伝えているか	研究内容について、興味を引くように魅力的に伝えている	研究した内容について、工夫をしてわかりやすく伝えている	研究した内容がわかるように伝えられている	研究した内容がわかりにくい
総合	研究として充実した内容になっているか	研究内容に思わずほかの人に教えたいような魅力があり、充実している	研究として充実した内容になっている	研究で分かったことや考えたことつを表現した内容になっている	研究内容が薄くてわかりにくいなど、研究として不十分である

1. OOさんの研究の良かったところや参考にしたいところ、改善点などのアドバイスを書こう。

最初うへんをもう少しゆっくり言ってほしかった。



2. 自分の自由研究を振り返り、よかった点や、改善点、今後に生かせることを書こう。

2,3分でおさえるために要点も少し切ってしまったので伝わりづかったと思う。



改善点の理由が具体的ではないため、「B」評価とした

今年度取り組んだ評価方法

②ガスバーナーの実技試験の相互評価

- ▶ 3～4人グループを作成し、各グループの代表者1人（計8人）を理科教諭が事前に評価する。
- ▶ 評価方法を代表者が十分理解したうえで、各グループの評価を代表者に委ねる。
- ▶ ワークシート（ループリック）を配布し、代表者はグループの2～3人を評価する。
- ▶ 自らの技能の改善点を見出そうとする。

ガスバーナーの実技試験

() 組 () 番 名前 ()

	評価の観点	A 期待しているレベル	B 身につけてほしいレベル	C 課題があるレベル
時間	ガスバーナーに点火して炎を消すまでの時間を計測する。	元栓を開けてから閉め終わるまでに、 <u>30秒以内</u> で操作ができる。	元栓を開けてから閉め終わるまでに、 <u>60秒以内</u> で操作ができる。	<u>61秒以上</u> で操作ができる。もしくは <u>終わらない</u> 。
操作の正確性①	元栓→コック→ガス調節ねじ→空気調節ねじの順に開け閉めできている。	止まることなくスムーズに操作できる。	止まりながらも、考えながら、間違いがないように操作できる。	手順を間違う、もしくは正しい操作ができていない。
操作の正確性②	①マッチの火のつけ方 ②ガスへの点火の方法 ③青い炎への仕方	3項目とも問題なくできた。	3項目のうち、1項目がうまくできなかったが、残り2項目はできた。	3項目のうち、2項目もしくは3項目ができなかった。
総合	ガスバーナーの使い方について、上記の3観点を総合する。	1人でガスバーナーを操作できるレベルに達している。	班員に協力してもらうことで、ガスバーナーを操作できるレベルである。	ガスバーナーへの理解が十分ではないため、練習が必要である。

○評価者 () からのコメント。よかった点や、改善点などのアドバイスを書こう。

○自分の実技試験を振り返り、よかった点や改善点、今後に生かせることを書こう。

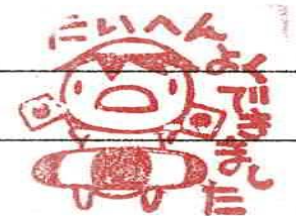
ガスバーナーの実技試験

([] 番 名前 ([A])

	評価の観点	A 期待しているレベル	B 身につけてほしいレベル	C 課題があるレベル
時間	ガスバーナーに点火して炎を消すまでの時間を計測する。	元栓を開けてから閉め終わるまでに、 <u>30秒以内</u> で操作ができる。	元栓を開けてから閉め終わるまでに、 <u>60秒以内</u> で操作ができる。	<u>61秒以上</u> で操作ができる。もしくは終わらない。
操作の正確性①	元栓→コック→ガス調節ねじ→空気調節ねじの順に開け閉めできている。	止まることなくスムーズに操作できる。	止まりながらも、考えながら、間違いがないように操作できる。	手順を間違う、もしくは正しい操作ができていない。
操作の正確性②	①マッチの火のつけ方 ②ガスへの点火の方法 ③青い炎への仕方	3項目とも問題なくできた。	3項目のうち、1項目がうまくできなかったが、残り2項目はできた。	3項目のうち、2項目もしくは3項目ができなかった。
総合	ガスバーナーの使い方について、上記の3観点を総合する。	1人でガスバーナーを操作できるレベルに達している。	班員に協力してもらうことで、ガスバーナーを操作できるレベルである。	ガスバーナーへの理解が十分ではないため、練習が必要である。

○評価者 (マツイ) からのコメント。よかった点や、改善点などのアドバイスを書こう。

すばらしい！落ち着いて操作できました。



○自分の実技試験を振り返り、よかった点や改善点、今後に生かせることを書こう。

あせらず、スムーズに火をつけたり消したりできていたと思う。マッチをつけるとき、少し怖かったけど1回でつけることができて嬉しかった。これからもし使うことがあったら、実技試験でやったことを思い出してスムーズにつけられるようにしたい。

ガスバーナーの実技試験

番 名前 (B)

	評価の観点	A 期待しているレベル	B 身につけてほしいレベル	C 課題があるレベル
時間	ガスバーナーに点火して炎を消すまでの時間を計測する。	元栓を開けてから閉め終わるまでに、 <u>30秒以内</u> で操作ができる。	元栓を開けてから閉め終わるまでに、60秒以内で	61秒以上で操作ができる。もしくは終わら
操作の正確性①	元栓→コック→ガス調節ねじ→空気調節ねじの順に開け閉めできている。	止まることなくスムーズに操作できる。		
操作の正確性②	①マッチの火のつけ方 ②ガスへの点火の方法 ③青い炎への仕方	3項目とも問題なくできた。	まくできなかったが、残り2項目はできた。	しくは3項目ができなかった。
総合	ガスバーナーの使い方について、上記の3観点を総合的に評価する。	一人でガスバーナーを操作できるレベルに達している。	班員に協力してもらうことで、ガスバーナーを操作できるレベルである。	ガスバーナーへの理解が十分ではないため、練習が必要である。

「主体的に学習に取り組む態度」
の評価ではなく、
「知識・技能」の評価項目とする。

○評価者 (A)
良か、T=と 思います。

からのコメント。よかった点や、改善点などのアドバイスを書こう。

○自分の実技試験を振り返り、よかった点や改善点、今後に生かせることを書こう。



練習よりしっかりできました。マッチをつけるときに1回ミスしたので悔しかったと思います。次から自分でガスバーナーを出ることを知り、がんばろうと思います。

ガスバーナーの実技試験

([redacted] 番 名前 ([redacted])

	評価の観点	A 期待しているレベル	B 身につけてほしいレベル	C 課題があるレベル
時間	ガスバーナーに点火して炎を消すまでの時間を計測する。	元栓を開けてから閉め終わるまでに、 <u>30秒以内</u> で操作ができる。	元栓を開けてから閉め終わるまでに、 <u>60秒以内</u> で操作ができる。	<u>61秒以上</u> で操作ができる。もしくは <u>終わらない</u> 。
操作の正確性①	元栓→コック→ガス調節ねじ→空気調節ねじの順に開け閉めできている。	止まることなくスムーズに操作できる。	止まりながらも、考えながら、間違いがないように操作できる。	手順を間違う、もしくは正しい操作ができていない。
操作の正確性②	①マッチの火のつけ方 ②ガスへの点火の方法 ③青い炎への仕方	3項目とも問題なくできた。	3項目のうち、1項目がうまくできなかったが、残り2項目はできた。	3項目のうち、2項目もしくは3項目ができなかった。
総合	ガスバーナーの使い方について、上記の3観点を総	一人でガスバーナーを操作できるレベルに達している。	班員に協力してもらうことで、ガスバーナーを操作できるレベルである。	ガスバーナーへの理解が十分ではないため、練習が必要である。

○評価者 ([redacted]) のコメント。よかった点や、改善点などのアドバイスを書こう。

スムーズでとても上手だった！

○自分の実技試験を振り返り、よかった点や改善点、今後に生かせることを書こう。

次はもう少しうまくできると思う



改善点の理由が具体的ではないため、「B」評価とした

今年度取り組んだ評価方法

③振り返りシート

- ▶ 毎時間の授業後に記述
- ▶ 学習感想や振り返り等を蓄積して評価

①学習日

②学習課題、めあて

③本時の学習内容の要点

④わからなかったこと、新たな問い

⑤本時の学習の振り返り

⑥姿勢と理解度の自己評価

評価項目

日付	学習課題 本時のめあて	本時の学習内容の要点をまとめよう	分からなかったこと 新たな問い、自分なりの考え	今日の自分を振り返ろう	姿勢	理解度
9月 22日 (金)	もののとけ方 について。	塩化ナトリウムや、ヨウバンなどの水にとける量には 限度がある。塩化ナトリウムのように水の温度が上がると とける量が変わらないものは、とける量が多くなるもの	他の物品のとけ方についても 調べてみたい。	とける限度があるよ ということが分かった。	◎ ◎ △	◎ ○ △
9月 25日 (月)	ろ過の仕方	ろ過台にろ過、ビーカー、ろ紙を用意して、ろ過し たい液をガラス棒に伝わせてろ過に入れる。そ うしたろ過器にろ過された液がたまると。	ろ紙1枚よりも、2枚、3枚の ほうがきれいになるか、試して みたい。	ろ過のしくみが 分かった。	◎ ○ △	◎ ◎ △
9月 28日 (木)	ろ過の仕方(実験)	上記のことをする前に、ろ過に塩化ナトリウムと石膏 酸カリウムをとかけた。砂と酒酸カリウム(3g)は水 (5g)に全てとけたが、塩化ナトリウムはとけ残り	ろ過したものをもう一度と り出してみたい。	すばやく実験を すすめることができた。	◎ ○ △	◎ ◎ △
9月 29日 (金)	溶質の取 出し方	溶解度が温度によって大きく変わる溶質は、水溶液の 温度を下げて、温度あまり変化しない溶質は水に蒸発 させて取り出す。	この方法以外にも取り出し方 があるか調べてみたい。	いろいろな溶質の取 り出し方が	◎ ○ △	◎ ○ △
10月 2日 (月)	基本のたっ	質量パーセント濃度 = $\frac{\text{溶質}}{\text{溶液}} \times 100$ 物質が、気体→液体→固体と状態も変えることを 状態変化という。	いろいろな問題をこいて おこなった。	計算の方法をしかり 覚えることができた。	◎ ○ △	◎ ○ △
10月 3日 (火)	ろ過の変化の しかた。	固体は加熱したら液体に、液体を加熱したら気 体になる。二酸化炭素のように液体にならない ものもある。	他にも液体にならない物 質を調べてみたい。	物質の性質が 分かった。	◎ ○ △	◎ ○ △
10月 6日 (金)	固体、液体、気体 の粒子のようす。	固体の粒子は規則正しく並んでいて、液体の粒 子は固体のときより間隔が広くなり気体はさらに 広くなり、自由に飛び回ることが出来る。	色々な物質のろ過がみこ みたくなった。	ろ過のそれぞれの 特徴が分かった。	◎ ○ △	◎ ○ △
10月 12日 (木)	練習問題	密度 質量 = 密度 × 体積 密度 = 質量 ÷ 体積 体積 = 質量 ÷ 密度 で 求め る。	難しい問題だらけだった。	どんな問題でも とけるようになった。	◎ ○ △	◎ ○ △

日付	学習課題 本時のめあて	本時の学習内容の要点をまとめよう	分からなかったこと 新たな問い、自分なりの考え	今日の自分を振り返ろう	姿勢	理解度
9月 22日 (金)	物質のとける 限度	エソワパンは、温度によつてとける量が変わり、とける限度がある。溶解度と温度の関係を表したグラフをどれだけとけたかがわかる。	とけきれなかった物質はどうやって取り出すのか？	先生の話もしっかり聞いた。	● ○ △	◎ ● △
9月 25日 (月)	ろ過のしかた	ろ過は、液体と固体に分ける操作。ろ過はろ紙を使い、ろろの長い方をビーカーにあてる。ガラス棒を使い、少しずつ注いでいく。	ろ紙の穴は小さいがそれより小さい穴はあるのか？	ろ過を小学校でしかたをばじめて知った。	● ○ △	◎ ○ △
9月 28日 (木)	実験で ろ過をする	食塩、硝酸カリウムに水を入れると少ししかとけな ^い か。熱すると、硝酸カリウムは少しとけたか。食塩は変わりない。ろ過すると固体と液体に分けることができる。	とけきれなかった物質はろ過をすることによってとり出せるか。水溶液にとけた物質はとり出せるのか？	ろろの長い方をビーカーにあてるのを忘れていた。	● ○ △	◎ ○ △
9月 29日 (金)	溶液を とり出す	溶解度が温度によって大きく変わる物質は水溶液の温度を下げるとり出すか。温度によってあまり変化しない物質は水を蒸発させてとり出す。	なぜ塩の溶解度はあまり変わらないのか？	塩の溶解度が変わりないことをはじめて知った。	● ○ △	◎ ○ △
10月 2日 (月)	これまでの振り 返り、 状態変化	溶液の取り出し方や、質量パーセント濃度の求め方、 ^フ ィー。状態変化は、物質が温度によって、固体、液体、気体と変換すること。	水は氷や水蒸気に変化できるか、別の物質は変化するのか？	これまでのことの振り返りもできた。	● ○ △	◎ ○ △
10月 3日 (火)	加熱、冷却 をする	固体を加熱すると液体になり、液体を加熱すると気体になる。気体を冷却すると液体になり、液体を冷却すると固体になる。	何度で液体、気体、固体に変換するのか？	固体を加熱すると液体になるということが分かった。	● ○ △	◎ ○ △
10月 6日 (金)	状態変化をしたときの体積や質量	ほとんどの物質は状態変化をると、液体から固体の質量は、変わりず、体積は小さくなる。液体から気体の変化の質量は、変わりず、体積は、大きくなる。固体、液体、気体が状態変化するにつれて密度は小さくなる。	なぜ水は、液体から固体に状態変化すると体積が大きくなるのか？	状態変化の質量の体積の変化を水以外理解できた。	● ○ △	◎ ○ △
10月 12日 (木)	密度、質量パーセント濃度、溶解度の振り返り	密度、質量パーセント濃度、溶解度の振り返りをした。	計算が大事だと思った。	全てのことが理解できた。	◎ ○ △	◎ ○ △

日付	学習課題 本時のめあて	本時の学習内容の要点をまとめよう	分からなかったこと 新たな問い、自分なりの考え	今日の自分を振り返ろう	姿勢	理解度
9月 22日 (金)	問題の丸つけと飽和について学ぼう	飽和はある物質が限度までしていることをいう。飽和水溶液は飽和した水溶液である。	食塩を多くとかす方法はないのかな? と思った。水を増やしてみたら? ○	飽和、飽和水溶液、溶解度のことも理解できた。	◎ ○ △	◎ ○ △
9月 25日 (月)	実験の仕方を確認しよう!	ろうとの長い方をビーカーにあてる。ガラス棒を伝わせてはねないように! ろ紙を4つに折りろうとにはめたら水をかけて密着させる。	ろ紙の穴よりも小さい物質はあるのかな? と思った。	実験の仕方を理解できた。	◎ ○ △	◎ ○ △
9月 28日 (木)	実験をしよう!	塩化ナトリウムは熱してもとけなかつたが、硝酸カリウムは熱したらとける量が増えた。	ガスバーナーの火のつけ方を忘れていた。	ろ過の仕方を理解できた。	◎ ○ △	◎ ○ △
9月 29日 (金)	溶質のとり出し方を学ぼう!	溶解度が温度によって変化するかしらないかで、温度を下げるか水を蒸発させるかが決まる。				
10月 2日 (月)	基本のチェックをかんばんろう!	溶質、溶媒、溶液の関係を確認できた。濃度の計算の確認ができた。再結晶のやり方を確認できた。	写真の水はなぜとけてないのかな? と思った。	先生の話をよく聞いた。基本のチェックをしっかりとできた。	◎ ○ △	◎ ○ △
10月 3日 (火)	状態変化の関係について学ぼう!	固体を熱すると液体、液体を熱すると気体になる。気体を冷却すると固体になり、液体を冷却すると固体になる。	固体から気体にならたりするのはドライアイスだけかな? と思った。	状態変化の関係の図を上手くかけた。	◎ ○ △	◎ ○ △
10月 6日 (金)	状態変化のとき質量と体積はどうなるのだろうか?	液体から固体への変化のときは質量は変わらないが体積は小さくなる。液体から気体への変化のときは質量は変わらないが体積は大きくなる。水は例外である。	炭酸水だ、たらどうなるかな? と思った。私は水と同じ感じになるのではないかな? と思う。	水だけは例外で、固体に変わるときに体積が変わることを理解できた。	◎ ○ △	◎ ○ △
10月 12日 (木)	ワークをかんばんろう!	密度、溶解度、質量パーセント濃度の問題を問いた。	密度が意外とできてなかった。溶解度曲線もよみとるのがあまやかしかった。	ワークを終わらせることができた。	◎ ○ △	◎ ○ △

要点をまとめている A評価 (○)
まとめきれていない B評価 (○なし)

振り返りシート

名前

日付	学習課題 本時のめあて	本時の学習内容の要点をまとめよう	分からなかったこと 新たな問い、自分なりの考え	今日の自分を振り返ろう	姿勢	理解度
9月22日 (金)	溶質のとり出し方を学ぶ	ある限度までとけている状態を飽和といい、その水を水溶液を飽和水溶液という。また、水100gにとけた物質飽和水溶液にしたとき、とけた物質の値をその物質の溶解度という。		授業をしっかり聞いた。	◎ ◎ △	◎ ◎ △
9月25日 (月)	ろ過について	ろ過もすると液体と固体に分けることができる。ろ紙の穴より大きいものは残り小さいものは通りぬけた。		ろ過の仕組みをよく知ることができた。	◎ ○ △	◎ ○ △
9月28日 (木)	実験	溶質を取り出した。そのとけ残りをろ過した。	ろかすことでとれたとけ残っているのかかわかる。	実際はろ過して難しかった。	◎ ◎ △	◎ ○ △
9月29日 (金)	溶質について	溶解度が大きく変わる物質は、温度を上げ、あまり変わらない物質は水を蒸発させる。		物質を取り出し方が難しかった。	◎ ◎ △	◎ ◎ △
10月2日 (月)	状態変化	p176のチェックをした。	状態が変化するとろをみるとみたいと思った。	状態が変化するのをおもしろいと思った。	◎ ◎ △	◎ ◎ △
10月3日 (火)				状態変化が分かった。	◎ ○ △	◎ ○ △
10月6日 (金)	状態変化による体積の変化	ふっふ。液体が気体になると体積は大きくなり、液体が個体になると体積は小さくなる。		粒子のようすが理解できた。	◎ ○ △	◎ ◎ △
10月12日 (木)	密度の計算 濃度の計算	計算をした。		少し忘れていたけれど公式を見て解けた。	◎ ○ △	◎ ○ △

空欄があっても良い。
可能な範囲で積極的に書けているか。

日付	学習課題 本時のめあて	本時の学習内容の要点をまとめよう	わからなかったこと 新たな問い、自分なりの考え	今日の自分を振り返ろう	姿勢	理解度
9月 29日 (木)	実験を がんばろう!	実験をする。	塩酸は、 なぜとけぬのか 気になっ。	しっかり、 実験ができた。	◎ ○ △	◎ ○ △
9月 29日 (金)	授業内容を 理解しよう!!	水溶液の物質を、なにが溶けるか	塩化ナトリウムは、 どうして、全部同じ形をして いるのか気になっ。	自分なりに、理解 できた。 話をしっかり聞いた。	◎ ○ △	◎ ○ △
10月 2日 (月)	話を しっかり聞こう!	今日の水溶液と物質のまとめ。	混合物と純物質の 意味がわかった!	話をきいた。	◎ ○ △	◎ ○ △
10月 3日 (火)	状態変化を 理解しよう!	状態変化について。	エタノールの沸点、 お湯を熱したら、お湯が沸くから、 お湯が沸くお湯を熱したら!	お湯を熱したら、 お湯が沸くから、 お湯が沸くお湯を熱したら!	◎ ○ △	◎ ○ △
10月 6日 (金)	液体を、 固体にする、 体積が小さくなるのが、 おもしろい!		液体を、固体にする、 体積が小さくなるのが、 おもしろい!	液体、固体、 気体、 について、 しっかり、 理解できた!	◎ ○ △	◎ ○ △
10月 15日 (月)			エタノールを熱したら、 お湯が沸くから、 お湯が沸くお湯を熱したら!	いっしょに、 お湯が沸くから、 お湯が沸くお湯を熱したら!	◎ ○ △	◎ ○ △
10月 17日 (水)	話をきこう	ノートを書く		しっかり勉強できた	◎ ○ △	◎ ○ △
10月 18日 (木)	ガスバーナーの テスト頑張ろう!	ガスバーナーのテスト、 自習	ガスバーナー	お湯が沸くから、 お湯が沸くお湯を熱したら!	◎ ○ △	◎ ○ △

**評価には入れない。
要点をまとめる際に、不足していた
場合はこの項目の内容を加味する。**

**学びの姿勢を振り返り、見通しを持つ
ことができているのでA評価**

今後の課題

- ▶ 新しい評価方法の研究
 - 単元ごとのワークシート作成など
- ▶ 教師間での評価基準の差をなくす
 - ルーブリックを綿密に作成して行く必要性
 - 成績表への説明責任等
- ▶ 評価に時間がかかりすぎる
 - ペーパーテストでは採点できない
 - 長期的に評価する必要がある